

4. 活動報告

4. 1 会議録

(1) 課題C 各サブテーマ 打ち合わせ

1. 日時：平成 28 年 12 月 22 日（木） 9：30-12：00
2. 場所：東京大学地震研究所
3. 議事：議題 1 サブテーマごとの参加機関研究計画打ち合わせ
議題 2 その他

(2) 課題C キックオフミーティング

1. 日時：平成 28 年 12 月 22 日（木） 13：00-18：00
2. 場所：東京大学地震研究所
3. 議事：議題 1 課題C の概要説明
議題 2 各サブテーマでのトピックの紹介
議題 3 サブテーマ連携についての総合討論
議題 4 その他

(3) 次世代火山研究推進事業 全体キックオフシンポジウム

1. 日時：2017 年 1 月 27 日（金）13：00-18：00
2. 場所：東京大学地震研究所
3. 議事：議題 1 プロジェクト全体概要
議題 2 各課題の概要紹介
議題 3 質疑
議題 4 課題間の情報共有や研究体制についての全体討論
議題 5 その他

4. 2 対外的発表

○学会等における口頭・ポスター発表

3. 1 火山噴出物分析による噴火事象分岐予測手法の開発

発表成果(発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表場所(学会名等)	発表時期	国際・国内の別
Quantitative color spectroscopy of ashfall samples as an indicator of eruption styles: Comparison of vulcanian and strombolian	Shimano, T., Nakada, S., Suzuki, Y., Maeno, F., Yoshimoto, M., Hokanishi, N.,	Cities on Volcano 9	2016 年 11 月 24 日	国際

eruptions in Indonesia and in Japan (口頭発表)	Zaennudin, A. and Iguchi, M.			
石基結晶組織を用いたマグマダイナミックスの研究～レビューと今後の展望 (口頭発表)	鈴木由希	次世代火山研究プロジェクト課題C研究集会	2016年12月22日	国内
玄武岩質マグマの噴火ダイナミクスに及ぼす減圧結晶作用の影響 (口頭発表)	石橋秀己	次世代火山研究プロジェクト課題C研究集会	2016年12月22日	国内
メルト包有物から制約する桜島火山歴史時代噴火のマグマ蓄積深度 (口頭発表)	新谷直己, 中村美千彦, 奥村 聡, 安田 敦, 井口正人, 味喜大介	災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画 桜島課題研究集会	2017年1月6日	国内
阿蘇における珪長質マグマの噴火度評価 (口頭発表)	長谷中利昭	国際火山噴火史情報研究集会画 桜島課題研究集会	2017年1月21日	国内
阿蘇-4 火砕噴火直前に噴火した大峰火山:メルト包有物組成からみるマグマ供給系の変遷 (口頭発表)	椎原航介, 長谷中利昭, 安田 敦, 外西奈津美, 森康	国際火山噴火史情報研究集会画 桜島課題研究集会	2017年1月21日	国内
阿蘇における浅部マグマ溜りへの高S濃度マグマ供給の証拠 (口頭発表)	川口允孝, 長谷中利昭, 安田 敦, 外西奈津美, 森康	国際火山噴火史情報研究集会画 桜島課題研究集会	2017年1月21日	国内
揮発性成分定量による活火山爆発力ポテンシャル評価とマグマ溜まり深度の再決定 (口頭発表)	安田 敦, 嶋野岳人	災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画 火山部会	2017年3月2日	国内

3. 2 噴火履歴調査による火山噴火の中長期予測と噴火推移調査に基づく噴火事象系統樹の作成

発表成果(発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表場所(学会名等)	発表時期	国際・国内の別
A sequence of the 2014	Maeno, F.,	Cities on	2016年	国際

Plinian event and a long-term magma discharge rate at Kelud volcano, Indonesia (口頭発表)	Nakada, S., Yoshimoto, M., Shimano, T., Hokanishi, N., Zaennudin, A. and Iguchi, M.	Volcanoes 9, Puerto Varas, Chile	11月22日	
hydrothermal alteration inferred from volcanic ash of hydrothermal and magmatic-hydrothermal eruptions: Examples from Ontake and Tokachi, Japan (ポスター発表)	Ohba, T., Minami, Y. and Imura, T.	Cities on Volcanoes 9, Puerto Varas, Chile	2016年11月24日	国際
Hydrothermal alteration process preserved in hydrothermally altered rocks in volcanic products of Tokachidake volcano, central Hokkaido, Japan (ポスター発表)	Imura, T., Ohba, T., Minami, Y. and Nakagawa, M.	Cities on Volcanoes 9, Puerto Varas, Chile	2016年11月24日	国際
Proportional variation of debris flow, hyper-concentrated flow, and stream flow deposits in a volcanic fan and the relationships with geomorphological features in Chokai volcano, NE Japan (ポスター発表)	Minami, Y., Ohba, T., Hayashi, S. and Kataoka, K.S.	Cities on Volcanoes 9, Puerto Varas, Chile	2016年11月24日	国際
阿蘇火山中央火口丘群の噴火史研究の現状と課題 (口頭発表)	宮縁育夫	次世代火山研究プロジェクト課題C研究集会	2016年12月22日	国内
噴火履歴解明・推移予測における地質学的課題 (口頭発表)	前野深	次世代火山研究プロジェクト課題C研究集会	2016年12月22日	国内
桜島火山噴火活動の岩石学	中川光弘・松本亜	災害の軽減に	2017年1	国内

的モニタリング:2015年噴火活動について(口頭発表)	希子・井口正人	貢献するための地震火山観測研究計画 桜島課題研究集会	月7日	
地質および物質科学的データに基づく低頻度大規模火山現象およびその準備過程の研究(口頭発表)	中川光弘	災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画 火山部会	2017年3月2日	国内
噴火履歴及び観測事例に基づく噴火事象系統樹の試作(口頭発表)	中川光弘	災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画 火山部会	2017年3月2日	国内

3.3 シミュレーションによる噴火ハザード予測手法の開発

発表成果(発表題目,口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表場所(学会名等)	発表時期	国際・国内の別
噴火未遂:2000年三宅島と2015年桜島の比較(口頭発表)	藤田英輔	災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画 桜島課題研究集会	2017年1月7日	国内
気象レーダー等を用いた桜島噴煙観測～観測データを利用したデータ同化手法の検討～(口頭発表)	石井憲介	災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画 桜島課題研究集会	2017年1月7日	国内
画像解析から得られる火山岩塊放出のダイナミクス(口頭発表)	常松佳恵	研究集会「阿蘇山の噴火活動・マグマ水蒸気爆発を理解する」	2017年2月28日	国内
火山灰データ同化システムの開発状況(口頭発表)	石井憲介	「降水と噴火」研究会(鹿児島大学)	2017年3月10日	国内

火山噴煙レーダー状況（口頭発表）	佐藤英一	「降水と噴火」研究会（鹿児島大学）	2017年3月10日	国内
------------------	------	-------------------	------------	----

○学会誌・雑誌等における論文掲載

3. 1 火山噴出物分析による噴火事象分岐予測手法の開発

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所（雑誌名等）	発表時期	国際・国内の別
Magma reservoir conditions beneath Tsurumi volcano, SW Japan: Evidence from amphibole thermobarometry and seismicity	Nagasaki, S., Ishibashi, H., Suwa, Y., Yasuda, A., Hokanishi, N., Ohkura, T. and Takemura, K.	Lithos vol. 278-281, p.153-165	2017年1月24日	国際
エネルギー分散型エックス線分析装置による火山ガラス含水量の簡易定量法	下司信夫・宮城磯治・斎藤元治	火山, vol. 62, p. 13-22	2016年12月28日	国内
A grooved surface-plate for making a flat polished surface	Miyagi, I.	Earth, Planets, Space, vol. 69, p. 1-3	2016年12月8日	国際

3. 2 噴火履歴調査による火山噴火の中長期予測と噴火推移調査に基づく噴火事象系統樹の作成

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所（雑誌名等）	発表時期	国際・国内の別
Carbonate ions in high-SiO ₂ rhyolite observed in fluid-melt equilibrium experiments	Yoshimura, S., Nakamura, M. and Yurimoto, H.	Geochemical Journal	2016年12月26日	国際
エネルギー分散型エックス線分析装置による火山ガラス含水量の簡易定量法	下司信夫・宮城磯治・斎藤元治	火山, vol. 62, p. 13-22	2016年12月28日	国内
Fluid-fluxed melting of mantle versus decompression melting of	Kuritani, T., Sakuyama, T., Kamada, N.,	Lithos, vol.282-283, 98-110	2017年1月23日	国際

hydrous mantle plume as the cause of intraplate magmatism over a stagnant slab: Implications from Fukue Volcano Group, SW Japan	Yokoyama, T. and Nakagawa, M.			
Eruption histories of Zao and Azuma volcanoes and their magma feeding systems of recent activities.	Ban, M., Takebe, Y, Adachi T, Matsui, R. and Nishi, Y.	Bulletin of the Earthquake Research Institute Univ. Tokyo. Vol. 91, 25-39.	2017年3月	国内
北海道中央部, 大雪火山群旭岳グループの後期更新世～完新世火山活動史	石毛康介・中川光弘	地質学雑誌, vol.123, 73-91	2017年2月	国内
日光火山溶岩ドーム群の全岩主化学組成—分析データ205個の総括—	高橋正樹・関根英正・矢島有紀子・金丸龍夫	日本大学文学部自然科学研究所研究紀要,52,135-179	2017年3月	国内
阿蘇カルデラ北西部, 蛇ノ尾火山の噴出物と噴火年代	宮縁育夫	火山, vol. 63, p.1-12	2017年3月31日	国内
アトサヌプリのボーリングコア	長谷川健・中川光弘・宮城磯治	気象庁火山観測ボーリングコアの解析-平成28年度成果報告書 - p.9-11	2017年3月	国内
雌阿寒岳のボーリングコア	和田恵治・佐藤鋭一・石塚吉浩	気象庁火山観測ボーリングコアの解析-平成28年度成果報告書 - p.12-16	2017年3月	国内
大雪山のボーリングコア	和田恵治・佐藤鋭一・石塚吉浩	気象庁火山観測ボーリングコアの解析-平成28年度成	2017年3月	国内

		果報告書 - p.17-20		
十勝岳のボーリングコア	上澤真平・石塚吉 浩・中川光弘	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.21-24	2017年3 月	国内
樽前山のボーリングコア	古川竜太	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.25-28	2017年3 月	国内
倶多楽のボーリングコア	後藤芳彦・古川竜 太・中川光弘	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.29-32	2017年3 月	国内
北海道駒ヶ岳のボーリング コア	宝田晋治・吉本充 宏	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.33-35	2017年3 月	国内
恵山のボーリングコア	三浦大輔・古川竜 太	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.36-39	2017年3 月	国内
岩木山のボーリングコア	佐々木実・伊藤順 一	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.40-42	2017年3 月	国内
十和田のボーリングコア	工藤 崇・佐々木	気象庁火山観	2017年3	国内

	実・田中明子	測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.43-50	月	
八甲田山のボーリングコア	宝田晋治・佐々木 実・田中明子	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.51-58	2017年3 月	国内
秋田焼山のボーリングコア	大場 司・伊藤順 一	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.59-62	2017年3 月	国内
岩手山のボーリングコア	伊藤順一・長井雅 史	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.62-64	2017年3 月	国内
秋田駒ヶ岳のボーリングコ ア	藤縄明彦・林信太 郎	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.65-67	2017年3 月	国内
栗駒山のボーリングコア	林信太郎・藤縄明 彦・吉川 純・伊 藤順一	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.68-70	2017年3 月	国内
蔵王山のボーリングコア	及川輝樹・西 勇 樹・伴 雅雄	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成	2017年3 月	国内

		果報告書 - p.71-73		
安達太良山のボーリングコア	藤縄明彦・山田和輝・柳澤妙桂	気象庁火山観測ボーリングコアの解析-平成28年度成果報告書 - p.74-76	2017年3月	国内
磐梯山のボーリングコア	山元孝広・中村洋一	気象庁火山観測ボーリングコアの解析-平成28年度成果報告書 - p.77-79	2017年3月	国内
那須岳のボーリングコア	山元孝広・伴 雅雄	気象庁火山観測ボーリングコアの解析-平成28年度成果報告書 - p.80-82	2017年3月	国内
日光白根山のボーリングコア	山元孝広・草野有紀・佐々木実	気象庁火山観測ボーリングコアの解析-平成28年度成果報告書 - p.83-85	2017年3月	国内
弥陀ヶ原のボーリングコア	中野 俊・石崎泰男・田中明子	気象庁火山観測ボーリングコアの解析-平成28年度成果報告書 - p.86-92	2017年3月	国内
焼岳のボーリングコア	及川輝樹・竹下欣宏	気象庁火山観測ボーリングコアの解析-平成28年度成果報告書 - p.93-94	2017年3月	国内
御嶽山(山頂部)のボーリン	及川輝樹・竹下欣	気象庁火山観	2017年3	国内

グコア	宏	測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.95-96	月	
御嶽山(長野県側)のボーリ ングコア	及川輝樹・竹下欣 宏・田中明子・山 崎誠子	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.97-102	2017年3 月	国内
富士山のボーリングコア	津久井雅志・川邊 禎久・下司信夫	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.116-119	2017年3 月	国内
箱根山のボーリングコア	津久井雅志・川邊 禎久・下司信夫	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.120-122	2017年3 月	国内
三宅島のボーリングコア	小林哲夫・星住英 夫	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.123-125	2017年3 月	国内
八丈島のボーリングコア	宮縁育夫・星住英 夫	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成 果報告書 - p.126-128	2017年3 月	国内
鶴見岳・伽藍岳のボーリング コア	星住英夫・中田節 也	気象庁火山観 測ボーリング コアの解析-平 成 28 年度成	2017年3 月	国内

		果報告書 - p.129-131		
阿蘇山のボーリングコア	下司信夫・小林哲夫	気象庁火山観測ボーリングコアの解析-平成28年度成果報告書 - p.132-133	2017年3月	国内
雲仙岳のボーリングコア	川邊禎久・小林哲夫・前野 深	気象庁火山観測ボーリングコアの解析-平成28年度成果報告書 - p.134-137	2017年3月	国内
霧島山のボーリングコア	津久井雅志・川邊禎久・下司信夫	気象庁火山観測ボーリングコアの解析-平成28年度成果報告書 - p.116-119	2017年3月	国内
薩摩硫黄島のボーリングコア	津久井雅志・川邊禎久・下司信夫	気象庁火山観測ボーリングコアの解析-平成28年度成果報告書 - p.120-122	2017年3月	国内

5. むすび

平成28年度から始まった本研究課題では、実際には年度後半からの開始となり、それぞれのサブテーマでは本格的な研究を実施することができなかった。特にサブテーマ2の研究の基本となる野外調査、トレンチ掘削調査およびボーリング掘削が冬季間であったため、ほとんど実施できなかった。しかしながら、個々のテーマおよび課題C全体でのミーティングが行われ、サブテーマ内での研究テーマ、手法および取りまとめに関して議論が進み、また課題全体での相互理解と連携が確認された。それに加えサブテーマ2では、重点火山の選定や研究手法の検討に関して、各参加機関およびサブ課題全体で有意義な議論が実施され、また北大において「マグマ変遷解析センター」が実質的に立ち上がりルーチン分析手法も確立できた。また、サブテーマ1では研究の軸となるF E - E P M Aが東大・地震